

静岡いきものの 市散策マップ

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家コース



南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家は、少年たちが、自然の中での活動を通して、自然に親しみながら自然から学ぶための静岡市の社会教育施設です。施設内には、野外活動を目的とした宿泊施設、クラフト室、キャンプ場、体育館などがあり、学校などの団体のほか、家族や子どもたちだけでも利用ができます。(一部の施設は、個人では利用できません。)

お問い合わせ
TEL : 054(260)2761
FAX : 054(260)2219

南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家 管理棟



南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家 入口

南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家 管理棟

キャンプ管理棟

キャンプ場

だれのしわざ? 森の中にエビフライが! じつは、リスのしわざです。

みずならやコナラのどんぐりと殻斗(ぼうし)、シバグサなどがたくさん




コース内から見た山々




舗装道路 (Paved road)

散策路 (Walking path)

バス停 (Bus stop)

ウォークラリーポスト (Walkラリー post)


駐車場 (Parking lot)

トイレ (Toilet)

キノコの観察方法


キノコを観察するのにいちばん良い方法はキノコをよく知っている人と一緒に同行して教えてもらうことです。キノコは秋だけではなく、春にも多く発生しますし、山奥や森林だけに生えるものでもありませんので、庭や近くの公園などでもキノコ観察をしてみましょう。もちろん、図鑑を携帯するのは基本です。観察するときは、①どこに生えているか(枯れ木、地上、虫など) ②生え方 ③形(かさ) ④色 ⑤ひだの様子 ⑥え(じく) ⑦もよう などもしっかり見ましょう。

【注意】キノコの種を判定することはとても難しい作業です。安易に採って食べることは危険ですのでやめましょう。



どんぐりの違い

静岡市内で見ることができるどんぐりは約20種類です。どんぐりを見分けるには、どんぐりの特徴(色、長さ、形、大きさ、頭のとんがりの形、おしりの形)などを観察してください。あわせて、殻斗(ぼうし)もよく見ましょう。うろこ模様、輪っか模様、とげとげ、裂けた形などがあります。自然の家で見られるみずならはどんぐりが大きく、殻斗はどんぐりの1/3くらいでお椀のようです。またコナラはどんぐりが細長く、殻斗は1/5~1/4くらいで少し扁平です。



大日峠駐車場



ウォークラリーポスト

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家周辺には、ウォークラリーの目印となる空き缶に番号の書いてある「WRポスト」が設置されており、位置を確認することができます。





静岡市 いきもの 散歩マップ

南アルプスユネスコエコパーク
井川自然の家コース(秋・冬)

キノコ

<p>● クリタケ(モエキタケ科)</p>  <p>秋、広葉樹の切り株や倒木上、埋没した材などに束生します。傘は3~8cm、まんじゅう形から平らに開きます。</p>	<p>● チチタケ(ベニタケ科)</p>  <p>夏~秋、広葉樹林内地上に単生または群生します。表面はピロイド状で赤褐色、傷がつくと多量の乳液を出します。</p>	<p>● ホコリタケ(ホコリタケ科)</p>  <p>梅雨期~秋、林地や草地の地上、朽木に群生します。径2~6cm、高さ3~6cmの球形でベージュがかかった白です。</p>	<p>● ハナイグチ(イグチ科)</p>  <p>夏~秋、カラマツ林内の地上に発生します。傘は4~15cm、表面はぬめぬめした、赤かっ色で、赤かっ下部は網目状です。</p>
<p>● ニガクリタケ(モエキタケ科)</p>  <p>通年、樹木や竹の切り株などに散生または束生します。傘は1~5cm、表面はイオウ色で中央部は黄かっ色です。</p>	<p>● ニシキベニハツ(ベニタケ科)</p>  <p>夏~秋、広葉樹(ミズナラ)林地上に発生します。傘は小~中型で、湿るとやや粘性がありツヤはありません。</p>	<p>● タマゴタケ(テングタケ科)</p>  <p>夏から秋、シイ、コナラ、ブナ、モミなどの木の下に出ます。傘は6~18cm、卵型から平らに開きます。</p>	<p>● コフキササルノシカケ(マンネンタケ科)</p>  <p>広葉樹の立木や倒木に発生します。表面は硬く、灰白色~灰かっ色ですが、ココア状の胞子で茶色にも見えます。</p>
<p>● ヌメリスギタケ(モエキタケ科)</p>  <p>夏~秋、広葉樹の倒木、切り株などに多数束生します。傘は3~13cm、ほぼ球形~まんじゅう形~平らに開きます。</p>	<p>● スギヒラタケ(キシメジ科)</p>  <p>秋、おもに杉の古い切り株上に群生します。傘は白色、ほとんど無柄で、扇形~へら型、側生します。</p>	<p>● ツルタケ(テングタケ科)</p>  <p>夏~秋、マツなどの針葉樹林、ブナ、コナラなどの広葉樹林の地上に発生します。灰色で卵形から平らに開きます。</p>	<p>● スッポンタケ(スッポンタケ科)</p>  <p>梅雨期~秋、竹林、庭園、陳内の地上に発生します。頭の黒いところは果物が腐ったようにおおいがします。</p>
<p>● サクラシメジ(ヒラタケ科)</p>  <p>秋、コナラ、ミズナラ、ブナ、モミなどの林地に群生します。傘は5~12cm、まんじゅう形から中高の平らに開きます。</p>	<p>● ホテイシメジ(キシメジ科)</p>  <p>秋、カラマツ林内の地上に多数群生します。かっ色~灰かっ色で、柄は下に向かっ太くなります。</p>	<p>● ニカワハリタケ(ヒメキクラゲ科)</p>  <p>夏~秋、針葉樹の切り株や根元に発生します。半円形のへら状で、セラチン質で、下面は円すい形の針でおおわれます。</p>	<p>● ヒメホウキタケ(ホウキタケ科)</p>  <p>夏~秋、針葉樹、まれに広葉樹の落葉、落枝状に発生します。枝は細く、茶色~黄かっ色です。</p>

アクセス情報



【バスでのアクセス】
 ①しずてつバス静岡駅前北口バスターミナル9番乗場より《安倍線》に乗り。
 ②「横沢」にて下車。(静岡駅より約81分)
 ③井川地区自主運行バス《白樺荘方面行き》に乗り換え。(待ち合い16分)
 ④「南アルプスユネスコパーク井川自然の家」下車。(横沢より約50分)

バスの本数が少ないので、あらかじめ時刻表を確かめましょう。

【車でのアクセス】
 静岡駅から約90分(横沢経由)

緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119番 ・ 警察 110番

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

監修: NPO法人 静岡県環境カウンセラー協会
 発行者: 静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL:054-221-1319 FAX:054-221-1492
 制作年: 平成29年1月

じゅもく

<p>● ウラジロモミ(マツ科)</p>  <p>高さ20~30m、まっすぐに伸び太い枝を横に張り出して三角形になります。樹皮は茶色がかった灰色です。葉は14~26mmの平たい針形でかたいです。</p>
<p>● アカマツ(マツ科)</p>  <p>高さ30~50m、まっすぐかやや曲がりまます。ほぼ全国で見られます。赤かっ色で、亀の甲のようにはがれる樹皮です。葉は2枚ずつつき、断面は半円形です。</p>
<p>● カラマツ(マツ科)</p>  <p>高さ20~30m、日本だけに自生する落葉する針葉樹です。樹皮は暗いかっ色でウロコのようなかけらにはがれます。葉は2~4cmの針型で柔らかいです。</p>
<p>● ゴヨウマツ(マツ科)</p>  <p>樹高20~25m、幹はほぼまっすぐに枝は水平に育ちまます。樹皮は若木のころから網目状にさげまます。葉は2~6cmで、一か所に5本ずつつきまます。</p>

<p>● ミズナラ(ブナ科)</p>  <p>高さ20~30m、特に寒冷地に自生しています。樹皮はたてにさげ、薄い紙状にはがれます。葉は10~18cm、ふちに大きなギザギザがあり、葉の茎がほとんどありません。</p>
<p>● コナラ(ブナ科)</p>  <p>高さ20~30m、里山から山地帯の雑木林に自生まます。樹皮は縦にはっきりと裂け目があります。葉は細長くふちにギザギザがあります。ミズナラより柄が長いです。</p>
<p>● ブナ(ブナ科)</p>  <p>高さ30mほどで、枝を広く伸ばまます。樹皮は灰白色でなめらかです。葉は長さ5~8cmのだ円形で、ふちには波打つようなギザギザがあります。</p>
<p>● シバグリ(ブナ科)</p>  <p>樹高は10~15m、幹はまっすぐに育ちまます。樹皮は薄い黒かっ色で縦にさげ目があります。葉は7~15cm、ふちのギザギザの先が針のようにとがっています。</p>

<p>● スギ(スギ科)</p>  <p>高さ30~50m、円錐すい形になります。日本だけに自生しています。樹皮は赤みがかった茶色で縦にさげまます。葉は1cmほどの針型で枝にらせん状につきまます。</p>
<p>● ヒノキ(ヒノキ科)</p>  <p>高さ20~30m、幹はまっすぐに伸びまます。日本だけに自生しています。樹皮は赤かっ色で、やや幅広くたてにさげまます。葉はうろこ状で、裏にY字の白いもようがあります。</p>
<p>● トチノキ(トチノキ科)</p>  <p>高さ20~35mのごんもりとした大木になります。樹皮の表面にコルク層が発達まます。葉は、手のひら型の複葉で、長さ15~20cm、ふちはギザギザです。</p>
<p>● ホオノキ(モクレン科)</p>  <p>高さ20~30m、根元近くから枝分かれます。樹皮は平らで白っぽく、丸い点があります。葉は20~40cmで、固く厚みがあります。</p>

<p>● ヒメシャラ(ツバキ科)</p>  <p>樹高10~20m、樹皮は赤かっ色でなめらかです。葉は3~8cmで、葉脈は目立ちまます。幹は床柱などに利用まます。</p>
<p>● ウリハダカエデ(カエデ科)</p>  <p>高さ10m前後でみきも枝もまっすぐに伸びまます。樹皮がマクワウリの実に似ています。葉の先端はすぐとこがり、ふちにも細かい不ぞろいのギザギザがあります。</p>
<p>● カツラ(カツラ科)</p>  <p>樹高20~30m、幹はまっすぐ、枝は斜めに伸びまます。樹皮は暗いねずみ色で、若木のうちからたてに割れ目が入りまます。葉は3~8cmでほぼ円形です。</p>
<p>● リョウブ(リョウブ科)</p>  <p>高さ5~10m、根元から枝別れし株立ちになります。樹皮が薄くはがれ、白、ピンク、だいたい、かっ色などのまだら模様になります。葉は先端がとがったえん形です。</p>